

2018年度 札幌教会木曜講座

創成川のリラの花も美しく開花し、道行く人々の目を楽しませてくれています。川畔の尖塔として道行く人々に親しまれている礼拝堂も既に113年の歳月を刻んでいます。札幌教会は来年2019年に創立130周年の年になります。

2014年から札幌教会木曜講座を大濱徹也先生の協力を得て開いてきました。今年も以下のような計画をしています。今回はキリスト者としての自分を前面に出した企画ですが関心をお持ちいただける方には公開といたしますのでご参加ください。

2018年度の主題 「わが家の歴史」をかたってみませんか
—キリスト者たる「わたし」の場—

「自分史」創りが世間で話題となっています。「自分史」とは何なのでしょう。
「わたし」の歩みは、「自分」ひとりの世界ではなく、家族をはじめ他者との出会いと別離に重ね、時代と向き合うときはじめてみえてくる世界ではないでしょうか。そこで講座では、下記のような課題を読み解くことで、キリスト者がどのように時代と向き合い「わたし」の場をたしかめようとしたかを問い語りしたいと思います。

- 1) 6月21日(木) キリスト者になるということ—「文明」を夢想して 時代に向き合う
- 2) 7月12日(木) キリスト者の相貌—「臣民」「国民」たる想い
- 3) 9月20日(木) 日本人キリスト者としての叫び—「国家の僕」たる「我」として
- 4) 10月18日(木) キリスト者たる「わたし」の場とは—「信仰の器」をめぐる確執

会場 札幌教会 明星館 2階ホール

各回 13時30分開場 14時開始～16時終了

参加費 資料代 500円 (各回、会場受付けにてお支払ください。)

講師 大濱 徹也先生 (筑波大学名誉教授・文学博士)

申込み 米倉 美佐男 ハガキ 〒060-0031

札幌市中央区北1条東1丁目-3

日本基督教団 札幌教会

FAX 011-221-2244

Mail txuxa@sonata.plala.or.jp

日本基督教団 札幌教会 牧師 米倉 美佐男
宣教委員会